

教科	総合的な学習の時間	学年	第3学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ぼくわたしの防災大作戦	14	地域の防災への取り組みやそれを支える人々について調べる活動を通して、安心・安全なまちづくりのために地域の一員としての自覚や愛着をもつ態度を養う。	・体験活動や様々な資料を通して、区や地域の防災に対する取り組みやそれを支える人々の仕組みについて理解している。 ・区や地域の防災に対する取り組みや人々の思いや願いを理解している。 ・活動を通して、調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法を選択している。	・江戸川区や地域の防災対策の特徴から課題を見出す。 ・課題を解決するために必要なことを判断し、乗法を収集するための方法を考えている。 ・得られた情報を取捨選択したり、比較・分類したりして、整理・分析している。 ・調べて分かったことと地域の課題を関連させながら、適切な方法で表現している。	・課題を解決するために、見通しをもって積極的に探究するとともに、友達の考えのよさを生かしたり認めたりしながら取り組もうとしている。 ・身近な人たちや地域の方たちの取り組みや行動に関心を持ち、地域の一員として意欲的にかかわったり行動したりしようとしている。
海苔博士になろう	13	南葛西の伝統だった海苔づくりを通して、先人の苦労を知り後世に伝える意識を養う。	・南葛西が昔から大切に受け継いできた海苔すきを知り、理解している。	・地域の方からのりすきを教えてもらいながら集めた情報から課題を見出している。	・海苔すきを体験する活動を通して、今後も地域の伝統を大切にしていこうと考えている。
情報モラルを知ろう パソコンを活用しよう	8	情報モラルやインターネットの正しい知識を身に付ける。 パソコンでの基本操作を様々なソフトを活用して知り、操作できるようにする。	・情報を扱う上でのルールやマナーを知る。 ・キーボード操作に慣れ、単語入力などをできるようにする。	・興味をもったことや疑問に思ったことをインターネットを活用して調べる。 ・身の回りのローマ字を読んだり、文章をローマ字で書いたりすることができる。	・図書資料やインターネットを活用して、自分の課題を自分なりに解決しようとしている。 ・課題解決を目指してインターネットを活用して調べようとしている。

教科	総合的な学習の時間	学年	第4学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報モラル・プログラミング学習	6	情報モラルやインターネットの正しい知識を身に付ける。 プログラミング的思考を身に付ける。	・情報を扱う上でのルールやマナーを知る。 ・簡単なプログラミングができる。	・興味をもったことや疑問に思ったことをインターネットを活用して調べる。 ・論理的思考で、プログラミングを作ることができる。	・図書資料やインターネットを活用して、自分の課題を自分なりに解決しようとしている。 ・簡単なプログラミングの作成に取り組む。
南葛西水害防災大作戦	25	東京都や江戸川区において想定される水害による被害や避難生活などについて調べ中で、地域の特性を考慮し、水害に対する備えや避難の仕方などについて探究する活動を通して、自分たちや周りの人たち、地域の人たちの命を守るために、自分たちにできることを考え、防災意識を高めたり水害に対する備えをしったりしていく。また、友達と協働的に課題解決に取り組もうとする態度を養う。	・「東京防災」や「江戸川区ハザードマップ」、その他の様々な資料を通して、東京都や江戸川区、地域の想定水害被害について理解している。 ・東京都や江戸川区や地域の防災に対する取組みについて調べ、自分たちの生活に合わせた防災についての情報を、図書資料やタブレット端末、インタビューなどを活用して調査している。	・東京都や江戸川区、地域の防災対策について調べ、自分たちにできることをについて考え、課題を見出している。 ・課題解決のために、集めた情報を比較したり、相互に関連付けたりして、実現性の高い防災について自らの考えを明確にしている。 ・自分たちにできる防災について、考えたことや思ったことなどを相手や目的に応じて、まとめ、表現している。	・南葛西に住む一員として、地域の水害による被害や水害の防災について関心を持ち、自らの探究活動に取り組もうとしている。 ・探究する活動を通して、友達の考えの良さを生かしたり認めたりしながら、協働的に課題解決に取り組もうとしている。 ・自分たちにできる防災について考え、地域に広めていく活動を通して、自分たちや周りの人たち、地域の人たちの命を守るための活動に取り組めたという実感を持ち、今後も防災や地域に関わる人たちのためにできることを考えようとしている。
人にやさしく	4	ユニバーサルデザインやバリアフリーの概念を理解し、福祉や共生社会に関する知識を広げ、実践しようとする態度を養う。	・インターネットや本の活用、体験学習を通して、興味をもったことを調べ、プレゼンテーションソフトを使ってまとめることができる。	・福祉や共生社会について、考えたことを表現する。	・調べて、わかったことを図などの資料を示しながら、言葉の調子や強弱、間のとり方に気をつけて発表しようとしている。

教科	総合的な学習の時間	学年	第5学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
残そう・守ろう・伝えよう「南葛西」	14	自分の住んでいる地域について知り、後世に残していく価値や取り組みを調べ、伝える。	・葛西地区における後世に残していく価値がある場所について調べ、理解することができる。	・間接的、直接的な交流を行いながら、葛西地区についての理解を深める。	・葛西地区の魅力を調べ、後世に残していこうという心を持ち、地域を大切にする心をもつことができる。
情報モラルを知ろう インターネットの使い方 プログラミングを体験しよう パワーポイントでプレゼンテーション	13		・必要な情報とそうでないものを選び、総合的に判断することができる。	・プレゼンテーションソフトによる発表を通して、お互いの調べたことを知り、自分の考えをもつことができる。	・何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない。
調べよう・体験しよう・伝えよう「魚沼」	8	ウインタースクールの事前学習として魚沼市の自然や特産品、スキーなどについて、詳しく調べることで魚沼市やウインタースクールへの理解を深める。	・自分の選んだ課題について、適切な方法で調べ、まとめることができる。	・下級生や保護者など相手を意識して、発表方法を考え、すすんで調べた成果を伝えることができる。	・他グループの発表を聞き、魚沼市について考えることから、自分の住む地域と比較して考えることができる。 ・自分の調べたことや友達の発表を聞き、自分の生活に生かすことができる。

教科	総合的な学習の時間	学年	第6学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○学ぼうSDGsのまち江戸川区 (9) ○情報モラルを知ろう(1)	10	SDGsの概要を知り、どんな問題があるのか知る。17の目標の中で気になる項目を選び、項目について詳しく調べ、まとめる。	・SDGsとは、どんな問題なのかを理解することができる。 ・江戸川区ではSDGsに関する取り組みから、私たちの生活をどのように変えていけばいいかまとめることができる。	・間接的、直接的な交流を行いながら、SDGsについての理解を深める。	・外国と江戸川区の取り組みとを比較して、未来の社会をよりよくしようという心を持ち、江戸川区民としての自覚をもって行動することができる。 ・何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない。
○観光都市「日光」を伝えよう。 (11) ○情報モラルを知ろう(1)	12	日光移動教室の事前学習として日光の歴史や自然、観光地について項目を絞り、詳しく調べることで日光への理解を深める。	・自分の選んだ課題について、適切な方法で調べ、まとめることができる。 ・必要な情報とそうでないものを選び、総合的に判断することができる。	・下級生や保護者など相手を意識して、発表方法を考え、すすんで日光の魅力を伝えることができる。 ・プレゼンテーションソフトによる発表を通して、お互いの調べたことを知り、自分の考えをもつことができる。	・他グループの発表を聞き、日光の魅力を考えることから、自分の住む地域の魅力について考えることができる。 ・自分の調べたことや友達の発表を聞き、自分の生活に生かすことができる。 ・何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない。
○南葛西のSDGsを考えよう (8) ○情報モラルを知ろう(1)	9	SDGsの概要を知った上で、自分たちが住む南葛西でできることを考える。17の目標の中で自分たちができることを考えてまとめる。	・世界の現状を踏まえ、江戸川区のSDGsの取り組みでどんなことを続けていけばよいかを考えることができる。 ・江戸川区がよりよい都市になるようなSDGsの取り組みについて周りの人々の発表することができる。	・将来を見つめる活動を通して、自己の生活への見通しをもつ大切さを学ぶとともに、自分の親や地域の人々によりよいまちづくりについて発表することができる。	・自己の考えや、他者の発表から、未来の江戸川区をよりよくしようとする思いをもつことができる。 ・何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない。
○情報機器を使いこなそう。 (5)	5	パソコンでの基本操作を様々なソフトを活用して知り、操作できるようにする。	・どうすれば自分の思考したプログラミングができるのか考えることができる。	・友達と協力しながらプログラミングした内容を考えることができる。 ・プログラミングソフトを活用し、自分の作った作品を交流し合っている。	・どうすれば、自分の考え通りの表現ができるのかを考えることができる。